

広報あつま別冊

令和3年度

主な事業と予算

厚真のまちづくり



令和2年度に完成した災害公営住宅新町のぞみ団地

広報あつま別冊特集号「令和3年度主な事業と予算」では、令和3年度の厚真町が、どのようなまちづくりを進めていくのか、今年度新たにスタートする新規事業や町民の皆さんに関わりの深い事業を予算とともに紹介していきます。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、町が進める事業の一部について紹介します。

この別冊で紹介した以外にも、町ではさまざまな取り組みを進めていきます。

誰もが暮らしやすいまちにするためには、皆様のご理解とご協力が必要です。皆さんと知恵を出し合い、笑顔があふれるまちをつくっていきましょう。

◆主な事業と予算 1

◆町職員の紹介 12

〇まちづくりの目標 //////////////////////////////////////

あつまる つながる まとまる 大いなる田園の町 あつま

「あつまる」情熱あふれる素敵な人々があつまるまちをめざします。

「つながる」人々が仕事や日々の生活の中でつながり、新たな付加価値を生み出すまちをめざします。

「まとまる」一人ひとりがお互いを尊重しあい、支えあいながらまとまりあるまちをめざします。

〇まちづくりの基本目標 //////////////////////////////////////

- 1 人が輝くあつま
住民がいきいきと暮らす「人が輝くあつま」をめざします。
- 2 健やかで安心なあつま
支援が必要な状況になっても安心して暮らせる「健やかで安心なあつま」をめざします。
- 3 みのり豊かなあつま
付加価値の高い産品・サービスを未来にわたって生み出し続ける「みのり豊かなあつま」をめざします。
- 4 快適に暮らせるあつま
いつまでも住み続けたいと思える「快適に暮らせるあつま」をめざします。
- 5 みんなで支えるあつま
個人、地域、行政がそれぞれの役割を基に、お互いを補完し合う「みんなで支えるあつま」をめざします。

令和3年度 主な事業と予算



子ども・子育て支援の充実

新規 こども園魅力化指導事業

600万円

宮の森こども園の魅力向上のため、先進法人から指導者を招へいし、園運営や保育についての技術的指導を受けます。

財源内訳 町の負担 600万円

主な経費 指導委託料、交通費 444万円
トレーラーハウス、 156万円
シェアオフィス使用料、
レンタカー借上料



園庭を見下ろすロフトでのんびり過ごす園児
＝沖縄県・みつわ保育園

<住民課 子育て支援グループ>

こども園運営事業 1億6,686万円

こども園つみきと宮の森こども園の運営に係る経費。

<住民課 子育て支援グループ>

子育て支援センター運営事業 1,422万円

厚真地区・厚南地区の子育て支援センターの運営を通して、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進や、子育て家庭に対する育児支援を行います。

<住民課 子育て支援グループ>

子育て世代包括支援事業 1,828万円

妊産婦および乳幼児の健康の保持および増進に関する包括的な支援を行うために「厚真町子育て世代包括支援センター」を設置し、妊産婦および乳幼児の実情把握や、妊娠・出産・子育てに関する各種相談など、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を行います。

<住民課 子育て包括支援センター>

認定こども園整備事業 500万円

こども園つみきと宮の森こども園に子どもが自分の力を存分に使って遊びたくなる園庭を整備し、子ども自身の「自ら育つ力」の基礎を培います。

<住民課 子育て支援グループ>

学校教育の充実

新規 厚真町教育研究所運営事業

60万円

本町がこれまで推進してきた英語教育、ふるさと教育、特別支援教育などの個別施策を、本町ならではの小中一貫教育として統合し、一体的に推進するため、新たに厚真町教育研究所を設置し運営します。

- ・運営委員会、部会の運営
- ・視察研修、研究活動
- ・研究紀要、研究所だよりの発行

財源内訳 町の負担 60万円

主な経費 運営委員会、部会の運営に
要する経費 28万円
視察研修、研究活動費 17万円
サークル活動補助金 6万円
その他事務費 9万円



町防災アドバイザーの定池祐季助教を招いて行われた防災授業

<生涯学習課 学校教育グループ>

小中一貫教育推進事業

602万円

義務教育9年間で育むべき子どもたちの姿を小中学校が共有し、その達成に向け一貫性のある連続した学びを保証する指導体制や9年間の系統的なカリキュラム編成など、小中一貫教育を推進します。

- ・小中一貫ふるさと教育カリキュラムの開発
- ・小中一貫英語教育の推進
- ・厚真スタイルの授業づくりに向けた研修等

<生涯学習課 学校教育グループ>

厚真高校活性化促進事業

2,309万円

北海道厚真高等学校の持続的発展に向け、地域に根ざした魅力ある学校づくりを支援します。

- ・公営塾の開設（運営方針、指導計画策定等含む）
- ・公営塾の担い手スタッフの確保（地域おこし協力隊）

<生涯学習課 学校教育グループ>

ICT教育推進事業

536万円

GIGAスクール構想に基づき整備された高速大容量通信ネットワークおよび1人1台タブレット端末の教育活動への活用度を高め、児童生徒1人1人の学習ニーズに個別最適化された学習環境と、児童生徒の資質・能力を最大限に伸ばすことができる教育環境の実現を図ります。

- ・教職員のICT教育研修の実施
- ・ICT支援員の配置
- ・学習用ソフトを活用した学習支援

<生涯学習課 学校教育グループ>

新規 厚真中学校

陸上グラウンド整備事業

330万円

厚真中学校グラウンドを、陸上競技の公認競技場（4種ライト）に改修することで、学校体育施設の活用度を高め、本町のスポーツ競技環境の充実とスポーツ振興を図ります。

- ・厚真中学校グラウンド改修工事設計委託

<生涯学習課 学校教育グループ>



上厚真小学校で初めて教室と職員室をオンラインで結んで行われた授業

社会教育の充実

新規 ふるさと教育推進事業

2,062万円

小学1年生～中学3年生までの9年間、学校教育・社会教育の両輪で「厚真の未来を語れる子」の育成をめざします。

財源内訳	町の負担	117万円
	道の負担	445万円
	地方債	500万円
	ふるさと応援基金	1,000万円

主な経費	人件費	768万円
	講師謝礼等	198万円
	ふるさと教育推進業務委託料	316万円
	放課後子ども教室開催委託料	614万円
	その他事務費	166万円



学習成果を発表する厚真中学校の生徒

<生涯学習課 社会教育グループ>

生涯スポーツの振興

新規 スポーツセンター・スタードーム整備事業 6,000万円

築40年が経過し、剥離やささくれが目立つスポーツセンターアリーナの床板を全面張り替えし施設の安全性を向上させます。

<生涯学習課 社会教育グループ>



大勢の町民が利用する厚真町スポーツセンター

まちづくり人材の育成

新規 関係人口創出事業 403万円

北海道胆振東部地震の影響や人口減少、高齢化により不足する地域づくりの担い手確保に向けて、町と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大をめざします。

併せて、今後更なる増加が予想される空き家について、移住者や関係人口とのマッチングによる有効活用を図るための調査・分析を行うとともに、官民連携組織の設立について検討を進めます。

<まちづくり推進課 復興推進グループ>

地域おこし企業人交流事業 2,017万円

3大都市圏に本社がある大企業の社員が、地域独自の魅力や価値につながる事業に従事することにより、魅力ある地域づくりを行うことで、地域の元気を創造するとともに、地方へのひとの流れを創出することをめざします。

<産業経済課 経済グループ>

健やかで安心なあつま

高齢者福祉・介護の充実

介護職員育成支援事業 642万円

介護職員初任者研修を受講した方に、費用の一部助成を行います。また、新規雇用者に対して事業所が就労支援金を支給した場合に町から事業所に費用を補助します。

- ・町外からの移住者 30万円(上限50万円)
- ・町外からの通勤者 20万円
- ・町内在住者 20万円

<住民課 福祉グループ>

介護サービス事業所 指定管理者委託料 6,427万円

高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように下記の施設を設置し、指定管理者が管理を行っています。

- ・高齢者生活福祉センター 1,422万円
- ・小規模多機能ホーム「ほんごう」 2,418万円
- ・厚南デイサービスセンター 1,199万円
- ・厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」 1,390万円

<住民課 福祉グループ>

社会福祉・障がい者福祉の充実

新規 重層的支援体制整備事業

1,694万円

相談者の世代や相談内容に関わらず、包括的に相談を受けて支援することができる体制を整備します。

財源内訳	町の負担	427万円
	国の負担	1,267万円

主な経費	移行準備事業委託料	1,694万円
------	-----------	---------



<住民課 福祉グループ>

複合型 地域福祉活動拠点運営事業 2,245万円

まちなか交流館しゃべるで、障がいのある人の就労継続支援や多世代間の交流などを実施します。

<住民課 福祉グループ>



平成27年4月に設置された厚真町まちなか交流館

保健・医療の充実

健康診査・健康相談・ 健康教育の推進

2,963万円

母子保健事業や、住民健診事業、健康相談等を実施することにより、住民の健康の保持増進を図ります。

<住民課 健康推進グループ>



予防接種・予防対策事業

3,089万円

予防接種法などに基づく予防接種の実施とところのケア対策強化事業等を行います。

<住民課 健康推進グループ>

みのり豊かなあつま

農業の振興

新規 上鹿沼第2地区道営ほ場整備事業

124万円

道営によるほ場整備場を下記の計画により実施します
【上鹿沼第2地区道営ほ場整備事業採択に向けた調査・計画樹立】

- 1 受益面積(予定) : 72.6ha
- 2 受益戸数(予定) : 12戸
- 3 総事業費(予定) : 1,450万円

財源内訳 町の負担 124万円

主な経費 農用地等集団化計画事業補助金 99万円
計画樹立(調査・換地計画等)
実施に伴う負担金 25万円



<産業経済課 農業農村整備グループ>

農業後継者総合育成対策事業

3,090万円

農家後継者および新規参入者の育成および確保対策を実施し、将来の町の農業を支え地域に貢献する担い手を育成します。

<産業経済課 農業グループ>

新規 下鹿沼地区

道営ほ場整備事業

10万円

道営によるほ場整備場を下記の計画により実施します。

【下鹿沼地区道営ほ場整備事業採択に向けた促進期成会の設立】

- 1 受益面積(予定) : 86.0ha
- 2 受益戸数(予定) : 28戸
- 3 総事業費(予定) : 1,800万円

<産業経済課 農業農村整備グループ>

林業の振興

地域林政アドバイザー設置事業 476万円

地域林業に関する専門的な知識を有する者をアドバイザーとして配置し、森林・林業行政の充実を図ります。

＜産業経済課 林業水産グループ＞

森林再生・林業復興推進事業 1,699万円

北海道胆振東部地震により被災した森林の再生および、林業の復興（振興）に資する事業の実施に併せ、今後の取り組み内容等について専門家から助言・支援を受けることで、被害を受けた森林や林業に関する取り組みを推進します。

＜産業経済課 林業水産グループ＞



崩落した幌内地区の急傾斜地で植樹する児童たち

水産業の振興

さけ定置網償還金補助金 173万円

鵜川漁協の自営事業である「さけ定置漁業」の「定置網」購入に対する償還金を補助します。

＜産業経済課 林業水産グループ＞

マツカワ種苗生産放流事業負担金 57万円

胆振管内3市3町4団体で構成される団体への負担金で、胆振太平洋沿岸の資源増大を図るため、マツカワの稚魚放流等を行います。

＜産業経済課 林業水産グループ＞

商工業の振興

新規 サテライトオフィス整備事業

2,500万円

町内において施設の改修およびムービングハウス等の設置により、地方でテレワークなど新しい働き方を実践できる環境整備を行います。

財源内訳	国の負担	1,900万円
	ふるさと応援基金繰入金	600万円

主な経費	旧厚幌ダム事務所改築設計	300万円
	ムービングハウス造成設計	500万円
	プロモーション委託	1,200万円
	企業進出促進補助金	500万円



働き方改革などで注目を集めているサテライトオフィス

＜産業経済課 経済グループ＞

地域おこし協力隊活動事業 7,893万円

町内で起業をめざす起業家人材の育成・誘致に加え、すでに町内で起業もしくは新規事業を立ち上げて間もない事業者のもとに、事業をともに創れるパートナーを配置すること等をとおして、先進的で継続的な事業及び新規雇用の創出などを推進し、地域の活性化を図ります。

<産業経済課 経済グループ>

起業推進事業 5,963万円

起業家人材を育成するため、情報発信、関係人口創出、町内での起業に向けた雰囲気づくりの醸成、ローカルベンチャースクールの実施します。また、起業に向けた取り組みの支援を行います。

<産業経済課 経済グループ>



ローカルベンチャースクールの1次審査の様様

観光・交流のまちづくりの推進

新規 観光施設整備事業

4,560万円

本郷特産品広場周辺の整備に関する経費

財源内訳	町の負担	280万円
	道の負担	2,280万円
	ふるさと応援基金繰入金	2,000万円

主な経費	地盤調査委託料	230万円
	本郷特産品広場トイレ実施設計委託料	130万円
	本郷特産品広場トイレ移築工事	1,970万円
	新町B B Qハウス移築工事	2,230万円



<産業経済課 経済グループ>

大沼野営場管理事業 1,921万円

大沼野営場の適正な施設管理および運営を行うとともに、利用者数の増加を図るため、水洗トイレと炊事場の設置、簡易水道の引き込み工事を行います。

<産業経済課 経済グループ>



簡易水道やトイレ等の設置が行われる大沼野営場

快適に暮らせるあつま

都市基盤の充実

新規 道路施設点検事業 2,500万円

道路及び付帯施設の定期的な点検を行ない、今後の修繕計画を策定します。

<建設課 土木グループ>

新規 橋梁長寿命化事業 (近接目視点検) 5,500万円

老朽化する道路橋の安全性を確保するため、定期的な点検と修繕計画を策定します。

<建設課 土木グループ>

新規 河川補修事業 4,900万円

4河川(軽舞川、チカエツ川、平井の沢川、ノヤスベ川) 浚渫、2河川(シュルク沢、ハビウ川) 植生の伐開、共和地区排水流末改修、シナイ沢川護岸補修を実施します。

<建設課 土木グループ>

地域公共交通対策事業 6,118万円

厚真町の地域公共交通の維持・確保、充実を図ります。

【主な取組】

厚真町地域活性化協議会の運営
地域公共交通計画の策定
生活を支える路線バスへの支援
鹿沼地区におけるむかわ町営バス運行への負担金
町内公共交通に関するガイドブックの作成
循環福祉バスの運行
地域公共交通空白解消タクシー運行の確保

<まちづくり推進課 企画調整グループ>



更に利便性を高めるために検討が進む循環福祉バスめぐるくん

環境保全の推進

下水道施設建設事業 6,620万円

下水道施設ストックマネジメント計画に基づき、計画的な施設の更新を行います。

<建設課 上下水道グループ>

浄化槽市町村整備推進事業 2,313万円

合併処理浄化槽設置により、公共下水道区域外の生活雑排水処理の推進を図ります。

<建設課 上下水道グループ>

快適な住環境の確保と定住化促進

新規 幌内地区環境整備事業（事業用地取得）

950万円

厚幌ダムおよび厚真ダム周辺に町外からの集客、町民の憩いの場として、環境緑地を整備するための用地を取得します。

財源内訳 地方債

950万円

主な経費 用地購入

950万円



<建設課 土木グループ>

簡易水道整備事業

2億6,940万円

水道未普及区域解消のため、幌里地区への配水管布設、耐震化および老朽管対策として新町・豊沢地区、富野地区・上厚真地区への配水管布設替、さらに大沼野営場までの水道管の布設を行います。

<建設課 上下水道グループ>

空き家等対策推進事業

1,649万円

空き家対策等の推進に関する特別措置法で国で定める基本指針に基づき厚真町における空き家等対策の推進を図ります。

<建設課 建築住宅グループ>

定住化促進対策事業

5,757万円

人口減少という課題に対して、分譲地での住宅建設や空き家改修を支援することで着実に定住に結び付けるとともに、都市部住民に対して町の魅力や暮らしの情報を継続的に発信することで、新たな移住者の獲得をめざします。

<まちづくり推進課 復興推進グループ>

子育て支援住宅建設事業 （上厚真地区）

2,568万円

町外で働く子育て世代の移住を促進し、定住人口の増加を図ることを目的に上厚真地区子育て支援住宅建設のための用地を購入します。

<建設課 建築住宅グループ>

消防・防災の強化

新規 防災マップ作成事業

600万円

令和2年度地域防災計画修正事項や、土砂災害、洪水、日本海溝・千島海溝沿い地震に伴う津波ハザードマップ等を冊子状のガイドブックにして作成し、併せてスマートフォンやパソコン等で操作可能なWEB版ハザードマップを構築します。

<総務課 防災グループ>

エネルギー地産地消事業

4億3,992万円

総合ケアセンターゆくり、給食センター、スタードームに対して、再生可能エネルギー（太陽光パネル等）を設置し、非常時及び平常時に利用可能なエネルギーを確保します。

<産業経済課 経済グループ>

みんなで支えるあつま

住民自治の推進

住民活動推進事業

177万円

明るく住みやすい地域社会の実現に向け、民間団体等の自主的意欲による活動を支援します。

<まちづくり推進課 企画調整グループ>



市街地環境整備事業として毎年行われている花壇整備

健全な行政運営の推進

庁舎周辺整備基本構想策定事業

35万円

老朽化した役場庁舎および胆振東部消防組合厚真支署の建替え並びに、役場庁舎周辺の土地利用を含めた施設の再編整備を検討するため、庁舎周辺等整備基本構想・基本計画を策定します。

<総務課 総務人事グループ>



昭和28年に建築された役場庁舎

災害復旧・復興

災害関連

災害復興推進事業

1,098万円

北海道胆振東部地震からの復旧・復興に向けて、地域や個別の課題に対して、地域に密着して活動できる人材を集落支援員として地域に配置するとともに、生活再建に向けての個別相談窓口を継続して設置します。

併せて、被害が甚大であった吉野地区においては、関係者と協議のうえ、景観維持のための環境整備を行うとともに、将来の土地利用等についての構想づくりを実施します。

<まちづくり推進課 復興推進グループ>

小規模住宅地区改良事業

4,307万円

平成30年度胆振東部地震により著しく被災した住宅が集合している地区において被災した住居を除却し、従前住居者向けの住宅（小規模改良住宅）や道路を整備します。

<建設課 建築住宅グループ>

住民活動推進事業（胆振東部地震）

50万円

平成30年度北海道胆振東部地震により被災した自治会等が管理する神社等の地域コミュニティ施設の早期復旧に資するため、自治会等が行う修繕工事等に要する費用の一部を助成します。

<まちづくり推進課 企画調整グループ>

胆振東部地震災害記録誌作成事業

400万円

北海道胆振東部地震による災害の記録と記憶を後世に伝え、災害に強いまちづくりの実現に生かすとともに、全国各地から多大な支援を受けた被災地の責務として、記録誌を通し震災被災地の経験を全国に伝えることを目的に記録誌を作成します。

<まちづくり推進課 企画調整グループ>

感染症の脅威から町民を守り、 新しい生活様式への転換を進めるまちづくり

新型コロナウイルス感染症対策を強化し、事業の継続やデジタル化の推進といった取り組みを進めます。

感染予防対策

予防接種事業

3,230万円

新型コロナウイルスワクチンの供給が可能となった場合に、速やかに住民に対し接種を開始できるよう、接種に係る事前準備および必要な体制を整備します。



優先して行われた医療従事者への
新型コロナワクチンの接種

財源内訳	国の負担	3,230万円
主な経費	ワクチン接種委託料	1,366万円
	体制整備関係委託料 (コールセンター・接種券作成等)	1,093万円
	集団接種会場設営備品購入	347万円
	人件費	242万円
	その他事業費	49万円
	その他事務費	132万円

<住民課 健康推進グループ>

学校保健特別対策事業（小学校）	160万円
学校保健特別対策事業（中学校）	160万円

感染症対策を徹底しながら円滑に教育活動を継続し、児童生徒の学びの保障を図る体制を整備します。

- ・学校における感染症対策等
- ・教育活動の継続に係る体制の整備
- ・教職員の資質向上のための研修支援等

<生涯学習課 学校教育グループ>

医療福祉介護保育従事者慰労金交付事業	850万円
--------------------	-------

新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化するリスクが高い利用者との接触を伴う業務に従事していることに対して、あつまるポイントを付与し、衛生品等の購入にかかる負担を軽減します。

<住民課 福祉グループ>

事業の継続・経済活動の支援

新型コロナウイルス感染症 緊急経済対策事業	712万円
--------------------------	-------

新型コロナウイルス感染症拡大を契機に離職した労働者の雇用および生活様式の変更等による移住の促進を図ります。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に起因して事業活動に影響を受けている町内の事業者に対し、借入金返済の負担軽減を図ります。

<産業経済課 経済グループ>

漁業施設整備等支援事業	1,320万円
-------------	---------

新型コロナウイルス感染症の影響により水産物の価格が下落していることからホッキ貝等の高付加価値化に向けた施設整備や設備の導入、コスト削減の取り組みを行い、漁業者の生活の安定を確保します。

<産業経済課 林業水産グループ>

新規 新型コロナウイルス 感染症対応融資（福祉医療）	184万円
-------------------------------	-------

新型コロナウイルス感染症拡大により、資金融資を受けた町内の福祉・医療法人の返済の負担軽減を図ります。

<住民課 福祉グループ>

新規 小規模事業者経営持続化 支援給付金交付事業	2,310万円
-----------------------------	---------

新型コロナウイルス感染症拡大に起因して、事業活動に影響を受けた事業者の固定経費等にかかる負担を軽減し、事業運営の円滑化を図るとともに経営への不安を解消して経営の持続化を支援します。

<産業経済課 経済グループ>

デジタル化の推進

光ファイバー網整備事業	3億4,331万円
-------------	-----------

厚真町内の光ファイバー未整備地区へのNTT東日本の光ファイバー網整備事業に対してその事業費を一部負担します。これにより、厚真町内全ての地区で高速ブロードバンドサービスが利用できるようになります。

<総務課 防災グループ>

高齢者WEB見守り環境整備事業	86万円
-----------------	------

新型コロナウイルス感染症拡大により、訪問できない場合等に、WEB端末を活用し、見守りや安否確認を行います。

<住民課 福祉グループ>

厚真町役場ダイヤルイン電話番号

<市外局番0145>

課 名	グループ名・施設名	電話番号
総務課	総務人事グループ	27-2322
	防災グループ	27-2481
	財政グループ	
住民課	福祉グループ	26-7872
	子育て支援グループ	
	子育て世代包括支援センター	
	健康推進グループ	26-7871
	町民生活グループ	
	税務グループ	
	こども園つみき	27-3945
	宮の森こども園	28-2525
	厚真子育て支援センター	27-2438
まちづくり推進課	厚南子育て支援センター	28-3155
	企画調整グループ	27-3179
	町史・災害史編さん室	
	復興推進グループ	
産業経済課	農業グループ	27-2419
	林業水産グループ	
	農業農村整備グループ	27-2491
	経済グループ	27-2486
	農業担い手育成センター・担い手研修農場	28-2207
建設課	建築住宅グループ	27-2325
	上下水道グループ	27-2326
	土木グループ	27-2451
	都市計画グループ	
上厚真支所		28-2311
会計室		27-2434
議会事務局		27-2485
農業委員会事務局		27-2409
生涯学習課	学校教育グループ	27-2494
	社会教育グループ	27-2495
	厚真町スポーツセンター	27-3775
	厚真町学校給食センター	26-7611
	厚真放課後児童クラブ	27-2710
	上厚真放課後児童クラブ	28-2801

広報あつま別冊 令和3年度主な事業と予算

発行／北海道厚真町

企画・編集／まちづくり推進課企画調整グループ

〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町120番地

電 話 0145)27-2321(代)

ホームページ <http://www.town.atsuma.lg.jp/>